

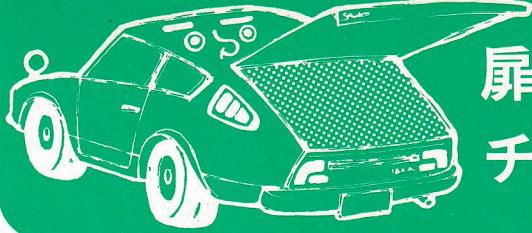
## ハッチバック・ライフの

「ラゲージスペース」の効用を追求するあまりスタイルの美しさが犠牲にされてはいないだろうか?

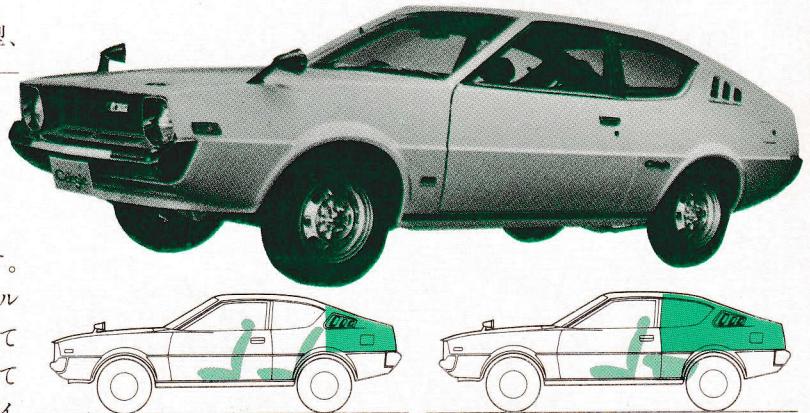
一口に「ハッチバック車」と言っても、ワゴン型、セダン型、クーペ型と、いろいろ。共通しているのは、各車とも――

- ①スペース自体の広さ
- ②荷物の積み降しのし易さ
- ③ハッチバックドアの大きさ
- ④フラットな床面設計(平らでないものもある)

を自慢しています。各型それぞれに特長をもっています。その比較も大切ですが、では機能を包んでいるスタイルはどうでしょう。機能重視のために美しさが犠牲にされていたらガッカリですね!「同じような機能を持ち合わせているなら、美しいクルマ」が望ましいのは当たり前。スタイルと機能を両立させた「才色兼美」のセレステはいかが?



扉をひらく  
チェックポイント



セレステは、これから時代に焦点をあてて生れたハイグレードなハッチバッククーペ。前倒れ式のリヤシート倒すと、フラットで広いラゲージスペース。容積0.6m³。リヤゲート

の開口部も広く、荷物やレジャー用品の出し入れもラク。最大の特長は、他車にない美しいスタイルと高い多用途性を同時に満足させていることです。

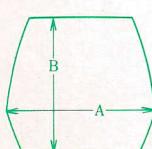


セレステはクーペの美しさに「高い機能」を実現したハッチバック。

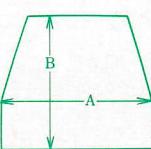
カタログデータから読みとれない「燃費」を読みとるには!?

まず、外観・スタイルから読みとる方法――

- ①空気抵抗(表面投影面積(A×B)×速度²)の大小
- ②スタイル上の差(風圧に影響ないスタイルか、否か)  
から判断してください。下図に従って、あなたもどうぞ!!



セレステの表面投影面積は1,610mm(全幅)×1330mm(全高)=2.14m²。また、その断面は、風圧を受けにくいタンブルホーム&ターンアンダーです。



他車の表面投影面積もカタログから、すぐに計算できます。また、他車の断面は、一般的に風圧を受け易い「台型」が多いようです。

次に、燃費の良し悪しを見る、もうひとつの手がかりに「馬力当たり重量」から判断する方法があります。その計算は、いたって簡単。カタログデータに出ている「車両重量を最高出力」で割れば、この数値が、はじけます。数値が小さいほど、燃費が有利といえます。セレステ1600XLでは、 $930\text{kg} \div 92\text{PS} = 10.11\text{kg/PS}$ 。同排気量の他車ハッチバックの数値と比較してみてください。セレステが有利と解りますね。

セレステは燃費の良さで差をつけるハッチバック。

低公害化のためにイキイキとした走行性能が失しなわれていないか?

いろいろな低公害システムが実用化され、各車に採用されています。浄化性能自体の優劣はもちろん、次に問題なのは、実際の走行性能にどれだけ影響しているかどうかです。試乗して、エンジンの吹き上り、加速パワーの余裕の有無、高速域での伸び具合、市街地走行でのネバり強さなどを比較・判断したいもの。また、カタログで最高出力・最大トルクの数値比較をするのもよい方法です。



	セレステ1600XL	A車	B車
最高出力(ps/rpm)	92/6,000	80/5,300	85/5,400
最大トルク(kg-m/rpm)	13.3/3,800	12.3/3,000	12.5/3,400

セレステは、高出力・高トルクハイドライバビリティのハッチバック。